

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	施術総論	
科目基礎情報					
開設学科	柔道整復科	コース名		開設期	後期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	開講時間	水曜 1時限目～	授業形態	講義
教科書/教材	教科書（柔道整復理論 -社団法人 全国柔道整復学校協会 監修-）に準拠する。				
担当教員情報					
担当教員	後藤 晃弘	実務経験の有無・職種	有・柔道整復師		
学習目的					
<p>評価、治療する基礎の部分について、問診から身体評価までの流れを学び、骨折や脱臼の整復の基礎をしっかりと理解し、柔道整復師としてのベースを作ることがねらいである。具体的には、問診の進め方や注意点、身体評価では視診、触診、計測評価、動的な評価、神経学的評価、各種徒手検査などの概要を理解し、そこから導き出された評価に対して、保存的に施術が行える場合の整復法の理論と損傷の治癒機序を理解する。また、指導管理や予後についての個々での違いについても理解する。</p>					
到達目標					
<p>学生が柔道整復学の基礎となる人体の構造や機能、ここでは人体の構造や機能を中心に学び理解させていくことを目的としている。知識と基盤に立ってさらに臨床の場で特に鑑別診断に必要な知識となれるよう、さらにそれらの知識を応用して緊急な状態であるものに対して適切な判断、適切な処置ができるよう柔道整復師の業務で要求されるレベルで説明できるようになる必要がある。</p>					
教育方法等					
授業概要	教科書を中心として、一般的な外傷やその処置などの理解を深めることを意識して授業を進める。前回までの知識の確認を個々の学生へ質問形式で実施する中で、学生自身が将来必要とされる患者への説明技術を向上させる。				
注意点	医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。社会の動きや学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備考		
	試験・課題	100%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回） 1回（ 2 ）時間 ※45分を1時間とする					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	施術の流れ1	柔道整復師が行う保険も含め接骨院で行う施術まで流れについて理解する。			
2回	施術の流れ2	柔道整復師が扱う業務範囲について接骨院で行う施術まで流れについて理解する。			
3回	問診術1	患者を不快な思いにさせないための空間やコミュニケーション技術を理解する。			
4回	問診術2	診察時の注意点を理解する。			
5回	問診術3	身体診察の流れについて理解する。			
6回	施術録	施術録の扱いについて理解する。			
7回	治療法1	治療法の概要や観血療法と非観血療法の違いについて理解する。			
8回	1回から7回の振り返り	1回～7回の知識が蓄積されているか確認する			
9回	治療法2	骨折の非観血的整復法の要点や骨折整復の一般原則を理解する。			
10回	治療法3	骨折整復の分類や方法を理解する。			
11回	治療法4	脱臼の非観血的整復法の要点や脱臼整復の一般原則を理解する。			
12回	治療法5	脱臼整復法の分類や方法を理解する。			
13回	治療法6	軟部組織損傷の初期処置や指導管理について理解する。			
14回	9回から13回の振り返り	9回～13回の知識が蓄積されているか確認する			
15回	半期の総括	全体のまとめ			